

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



— 84号 —

発行日 / 平成 29 年 1 月 10 日

発行所 / 草津市大路 2 丁目 11-33

TEL 077-561-6111

077-561-6133

HP <http://www.shigajou.or.jp>

Blog <http://shigajou.blog.eonet.jp>

聴覚障害者向け

ソフト制作の研修を受けて

平成28年11月15日(火)～11日(木)に兵庫県立聴覚障害者情報センターで「平成28年度NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」が開催されました。

まず、昨春起きた熊本地震における熊本県聴覚障害者情報提供センター(以下・熊情セ)の取り組みが報告されました。罹災した聴覚障害者のほとんどは避難所を利用せずに車中泊をしていたため、なかなか実態がつかめなかったとのことでした。それは余震が続いていたからでもあったのですが、聴覚障害者が情報を求めて避難所を訪れても聴覚障害者に対する支援への理解がなかなか得られず、そこにも避難所を利用し

ない理由があったのではないかとという話でした。

そういうこともあって、県と協議し、熊情セが福祉避難所の指定を受けることになったのですが、医療面、精神面のケアなどに課題が出たようです。福祉避難所や避難所のあり方、避難所に対してのアプローチについて考えさせられたとのことでした。そして、インフォメールでの文字情報発信、iPadを活用した遠隔手話通訳サービスの試みなど情報発信の取り組みが報告されました。

さらに兵庫県聴覚障害者協会から阪神淡路大震災後の取り組みについての講話もありました。当時の聴覚障害者は情報が全くつかめず、どうしようもなかったと大変さが語られ

ました。場所や状況の文字情報が全くない音声のみの当時のニュース映像が流されると、様々な情報が表示されている現在のテレビ映像と比較して、当時の文字情報の乏しさを実感できました。「情報を発信・提供・支援できる人材や技術、機器がある」「集まれる場所としての拠点がある」それは聴覚障害者情報提供施設だからできることです。

情報アクセスの保障、コミュニケーション支援、聴覚障害者関係のネットワークの充実が情報提供施設にかかっていると、その専門性、役割、期待を述べておられました。

2つの話の締めくくりには、日頃の取り組みがいかに大切かということが話されました。災害はいつ起こるかかわからないもので、聴覚障害者が安心して過ごせる避難所とは何か考えさせられました。

今回の研修は今まで経験を積んできた人たちが集まっているからこそできた内容だと感じました。また、研修の中で、全聴情協のネットワークのあり方、全聴情協の映像のあり方を追求し合ってきたからこそ議論ができたのだとも感じました。そして、聴覚障害者について常に考え続けることで専門性を深めていけると感じた研修会でした。

ろう俳優の寸劇で学ぶ

聴覚障害者のための

メンタルヘルス

主催…一般社団法人日本聴覚障害

ソーシャルワーカー協会

協力…社会福祉法人滋賀県聴覚障害

者福祉協会

日時…平成29年2月25日(土)

12時30分～16時(12時より受付)

会場…スカイプラザ浜大津(京阪浜

大津駅より徒歩1分)

内容…ちよつと学んでみよう「聞こ

えない人の精神保健(メンタル

ヘルス)」

●寸劇「聞こえない人のこころ」

●フリートーク

*別に相談コーナーもあります

① 10時40分～12時

② 15時～16時

各5名まで先着順

※申込み制(先着100名)。

参加費無料

詳しくは担当までお問い合わせください。

滋賀県と懇談会を開催

平成29年度県予算編成にかかる要望書を提出

11月15日、当協会の役員（理事三役、施設長ら）が県庁を訪れ、障害福祉課長との懇談を行い、予算要望を行いました。この懇談会は毎年、県予算の編成にあたり、当協会からの要望をもとに懇談を行っているものです。

今回の懇談会では、県立聴覚障害者センターの充実強化を図るための新規事業の実施や意思疎通支援者の養成事業に関連する予算の拡充、また、びわこみみの里と湖北みみの里に対しては、施設改修や報酬引き上げなどへの理解を求めました。

県としては、当協会が行なっている県立聴覚障害者センターの管理運営の現状や事業の成果については理解はしているとしながらも、要望内容についてはさらに緊密に協議を行っていききたいと述べるにとどまりました。

※要望内容は次の通り（要旨）

1. 県立聴覚障害者センター

充実強化

●「電話リレーサービス」等の実施に

ついて

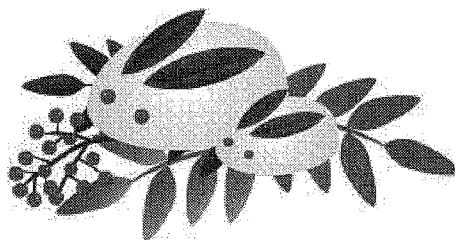
●障害者差別解消法の施行における県機関との連携強化について

●意思疎通支援者の認定試験及び養成事業における機器整備（予算措置について）

●湖北地域を担当する事業担当者の配置について

2. びわこみみり、湖北みみの里への支援について

●障害者福祉サービスにおける報酬改定（引き上げ）への働きかけについて



手話通訳者への道のり

昨年12月3日（土）に手話通訳者全国統一試験がおこなわれました。今年度は23名が手話通訳者をめざして受験申込をしました。全国平均の合格率が20%を下まる狭き門ですが、この試験までの道のりを紹介します。

手話との出会いは、奉仕員養成講座や地域の手話サークルなど様々です。そこで日常会話ができるぐらいのレベルになれば、手話通訳者養成講座に申し込みます。

最近では、各市町開催の手話奉仕員養成講座で2年間学び、通訳者養成講座にチャレンジするケースが多いです。奉仕員養成が終了した人を通訳者養成に繋げるために「ステップアップ講座」（名称はいろいろです）を開いている市町もあります。滋賀県でも2年前から開催しています。

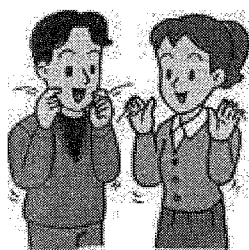
手話通訳者養成講座は6月ごろに「手話通訳Ⅰ」が始まりますが、滋賀県では、受講にあたって「受講者選考」の試験を行います。こ

れは、受講生の技術や知識のレベルをある程度そろえ、講座がスムーズに進めるようにするものです。

講座では実技の他、手話通訳者に必要な知識を学ぶ講義もあります。そして3月に到達度チェックを行います。これは「手話通訳Ⅰ」の学習目標に到達できたかどうかをチェックする滋賀県独自の試験です。到達度チェックをクリアして、「手話通訳Ⅱ」に進みます。手話技術の他、観察実習、事例検討やロールプレイを通し手話通訳者として必要な考え方や視点などを学びます。

そして、毎年12月の第一土曜日に行われる統一試験に合格し、二次試験の面接に合格すると、いよいよ手話通訳者としての活動が認められます。

合格者が少ないなどの課題が多くありますが、手話通訳者が1人でも増えることを願って受講生のサポートを行っていききたいと思います。



手話付TV番組を紹介します。 びわ湖放送で放映中!!



聴覚障害者センターは、滋賀県広報番組の収録に協力しています。

「手話タイムプラスワン」は県内の出来事や県政だけでなく、聴覚障害者に関わる様々な行事やお知らせを、キャスターが手話で紹介しています。

「滋賀県議会リポート」では、滋賀

県議会の概要や、正副議長、議会運営委員長、各会派代表のインタビュを放送し、「常任委員会」「特別委員会」の報告には、手話通訳が付いています。

今年も、さらに滋賀県提供の人權啓発番組「じんけんホッとNEWS」(2016年12月3日22:30〜再放送12月4日18:30〜)にも、手話通訳が導入されました。

滋賀県議会提供のテレビ広報番組(制作:びわ湖放送)の録画映像をビデオ・オン・デマンド方式で見ることができま

す。
手話付番組をどうぞよろしくお願いたします。



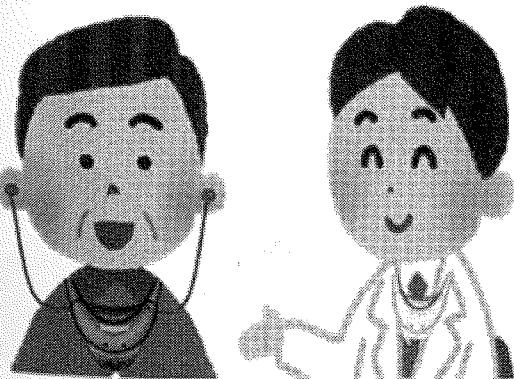
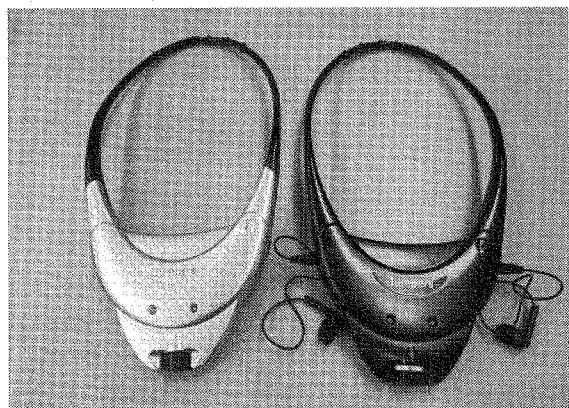
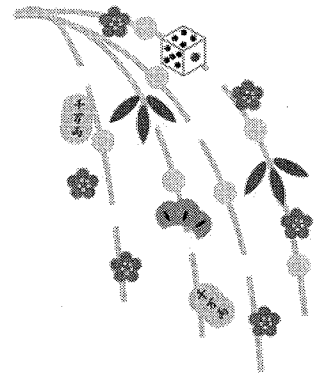
聴こえる! 話せる! 会話器 「フェーストーカー」のご紹介

昨年10月、対面で話せる会話器の

フェーストーカーが寄贈されました。声をマイクで拾い無線で耳元に伝えますので、聴き取りに不自由をお感じの方にもスムーズに会話ができます。また、相手の声と自分の声をイヤホンではっきりと聞くことができますので、うるさい場所での会話や離れた方との会話においても役立ちます。

重度難聴の場合も、テレコイルアダプターを使い、ボジションにすると、補聴器や人工内耳で聞くことができます。

今後、きこえの相談などで活用していきます。



聴覚障害者生活訓練事業「いきいき教室」からの報告
 「58名が集まった！湖北みみの里で
 初めてのクリスマス会」

聴覚障害児および保護者サポート事業からの報告
 「本物!?のサンタクロースからのプレゼントに
 大喜び」



いきいき教室では、毎年12月にホームヘルパー等の会
 ふくろうと合同でクリスマス会を開催しています。12月
 15日（木）10時～15時30分まで湖北みみの里で開
 催しました。今年は地域の手話を学ぶ方にも声
 をかけたところ、過去最高の総勢58名の参加
 で大盛況となりました。「いつも家では一人
 ぼっち。お昼ごはんをみんなで作って手話
 でお喋りして食べたい」。いつも参加者か
 ら寄せられる声でした。しかし、会場の
 都合がつかずなかなか実現できませんでした
 した。それがようやく調理室のある湖北
 みみの里で実現することができました。
 美味しい豚汁とちらし寿司、デザート

ケーキを作り、手話での
 お喋りに花が咲
 きました。また、
 91歳の聞こえない
 サンタさんが登場。参
 加者の中でも最高齢であ
 り、みなさんに笑顔と元気を
 与えてくださいました。最後
 に今年何事もなく無事に過ご
 せたことに感謝をし、新年1
 月の再会を約束してクリスマ
 ス会は終了しました。

91歳のサンタさん 外国からサンタさんが登場！

こどもからお年寄りまで 笑顔いっぱいのクリスマス会開催

この事業では、聞こえない子どもたちの交流と余暇支
 援の場として「クローバークラブ」を年4回開催し
 ており、去る12月18日（日）10時～15時までび
 わこみみの里においてクリスマス会を開催
 しました。参加者は県内各地から26名（子
 ども15名 保護者11名）でした。ゲーム
 やクリスマスツリー作りを友だちやボ
 ランティアのお兄さん・お姉さんと力
 合わせて取り組み、手話バンド「な
 んくるないさーず」による手話歌を
 一緒に歌ったりと賑やかに過ごしま
 した。その後、サプライズとして外
 国からやってきた聞こえないサンタ
 さんが登場！子どもたちは本物!?!の
 サンタさんに目をくりくりさせながら
 大喜び。お
 菓子のプレ
 ゼントを受け
 取っていました。

今回初めて参加して
 下さった子どもたちや、か
 つて聾話学校の同級生だっ
 た友達同士の再会などたく
 さんの出会いがありました。
 笑顔あふれる楽しい一日と
 なりました。



湖北ビデオライブラリー再開します

～『湖北ビデオライブラリー』の場所が変わりました～ 場所：湖北みみの里（米原市宇賀野269番地）

再開日時：2017年1月15日

- ご利用の際はビデオライブラリーご利用の登録（無料）が必要になります。
 ○県内にお住いまたは勤務されている方ならどなたでもご利用になれます。
 ただし、健聴者は見られないものもあります。
 ○すでに滋賀県立聴覚障害者センターで登録されている方は、引き続きご利用できます。
- ご利用の際は湖北みみの里職員に声をかけてください。
- 詳細は湖北みみの里にある「ビデオライブラリー概要」をご覧ください。

